



「8・6平和のつどい」開催される！その4

テーマ **「あれから80年 現在、そしてこれから…～いま私たちにできることは～」**

参加者からのメッセージのつづきです。

○初めて参加しましたが、催しの素晴らしさにとても感動しました。来年も是非参加したいです。(今日は仕事が19時におわらずいそいできました。来年は最初から出席したいです。)めちゃくちゃ感動しました。来年直方で「あの鳥？の絵」という広島県の美術部の高校生が被爆にあった方の証字を絵にするお芝居をやりませう。気持ちが強くなりました。良い機会を頂き、ありがとうございました。(50代の参加者からのメッセージ)



○80年。伝えてくれる人がいなくなる今、私たちがもっと知り、学び、伝えていかなければならないことが改めてわかりました。子どもたちと一緒にもっと考えたいです。そして何か「伝える」方面でお手伝いできる人でありたいと強く思いました。(20代の参加者からのメッセージ)



○戦後 80 年の節目を機に初めて参加しました。改めて、語り継ぐことの大切さを感じました。コーラスがとても感動しました。(50代の参加者からのメッセージ)

○教科書だけでは知ることのできない戦争時代の本当の姿を知ることができて、ショックも少し受けたけど、知らなきゃいけないことを知ることができてよかったです。放送部の方々の音読がとても素晴らしかったです。合唱をされていた方々の歌声が本当に美しく感動しました。(20代の参加者からのメッセージ)



○「やくそく」の絵本の読み聞かせは、学級の子もたちになりました。子どもの感想の中から「おもしろいお話を聞かなくてはいけません」「たかさんのおもしろいお話が聞かされた本だね」という言葉がありました。今日の読み聞かせも様々な世代から思いがこもった声で心に響きました。歴史そして生き抜いた人々のおもしろい毎日学習し繋いでいかなければならないと感じました。(20代の参加者からのメッセージ)

【ドキュメント『伝える』裏話】

今年の8・6にはドキュメント『伝える』で参加した。1975年、大学生の時、加害の歴史に気づき始めた。朝鮮人被爆者を訪ね、話を聞き始めたのはこの頃。今回これまでの50年分のカセットテープ、スライドフィルム、ビデオテープを見直し、聞き直し作品を作ろうと思った。

中には毒ガス工場、小倉造兵廠、知覧での学徒動員体験、門司空襲体験などもある。強制連行や日本への渡航やその後の過酷な労働の体験もある。お話を伺ったあとお亡くなりになった方も多く、貴重なテープでもある。中にはお話を聞いた後「わたしの遺言」と託されたものもある。

ただ反省も多々ある。50年分の資料はあまりに膨大で性格的に整理整頓できていない私はなので、「あの資料」と思った資料にたどり着くまでにあまりにたくさんの時間がかかった。はっきり言って準備不足だった。まれに見る失敗作になった。

来年、再チャレンジする。作品としてまとめるだけでなく、支部事務所やへいわの街 ミュージアムへの寄贈も視野に資料をまとめたい。

NO.26 につづく

わからないこと・困ったことがあったら… 何でも気軽にお問い合わせください！

///JTU 北九州市教職員組合 〒802-0072 小倉北区東篠崎3丁目4-1

E-mail:jtuhokyu@lime.ocn.ne.jp

北九州教育会館 TEL (093) 953-0381

